

ABSTRAK

Septryani. 2013. *Efektivitas Media Teka-Teki Silang Untuk Meningkatkan Kemampuan Penguasaan Kosakata Bahasa Jepang (Studi Eksperimen Terhadap Mahasiswa Semester IV Tahun Ajaran 2011/2012 Jurusan Pendidikan Bahasa Jepang Universitas Muhammadiyah Prof.Dr.Hamka)*. Skripsi., Jurusan Pendidikan Bahasa Jepang, Fakultas Bahasa dan Seni, Universitas Negeri Jakarta.

Kosakata merupakan kunci untuk mempelajari sebuah bahasa. Banyaknya kata-kata yang perlu diingat menjadi suatu kendala dalam mempelajari bahasa Jepang. Pentingnya kosakata dalam mempelajari bahasa Jepang juga bisa dilihat dari adanya beberapa penelitian tentang kemampuan penguasaan kosakata dan juga terdapatnya soal-soal tentang kosakata pada *Japanese Language Proficiency Test*.

Tujuan penelitian ini adalah untuk mencobakan media teka-teki silang demi meningkatkan kemampuan penguasaan kosakata bahasa Jepang di tingkat perguruan tinggi. Dan untuk melihat sejauh mana efektivitas penggunaan media teka-teki silang untuk meningkatkan kemampuan penguasaan kosakata bahasa Jepang.

Metode yang digunakan dalam penelitian ini adalah metode *true experimental* dengan desain *control group pretest-posttest design*. Dengan memberikan *pretest* kepada kelas eksperimen maupun kelas kontrol untuk mengetahui kemampuan awal kelas dan mengetahui homogenitas kelas. Kemudian memberikan perlakuan (*treatment*) kepada kelas eksperimen dengan menggunakan media teka-teki silang, sedangkan pada kelas kontrol menggunakan kartu kata. Setelah itu diberikan *posttest* kepada kedua kelas tersebut.

Hasil dari tes menunjukkan bahwa kelas eksperimen mendapat nilai yang lebih tinggi daripada kelas kontrol. Nilai t_{hitung} sebesar 8.40, pada taraf signifikansi 5% diperoleh t_{tabel} 2.06 sedangkan pada taraf signifikansi 1% diperoleh t_{tabel} 2.08. Dengan demikian $t_{hitung} > t_{tabel}$. Maka diketahui bahwa H_0 diterima dan H_1 ditolak, sehingga dapat disimpulkan bahwa terdapat perbedaan yang signifikan antara hasil *posttest* kelas eksperimen dan kelas kontrol. Berdasarkan data angket, diketahui bahwa belajar kosakata menggunakan media teka-teki silang adalah hal yang menarik dan dapat menambah wawasan juga pengalaman mengenai kata.

Kata kunci: teka-teki silang, kosakata bahasa Jepang, media pembelajaran.

日本語の語彙能力を向上するためのクロスワードというメディア

の有効性

(Prof. Dr. Hamka Muhammadiyah 大学日本語学科 2011/2012年度の
4 学期大学生に対する実験的な研究)

Septryani

概要

A. 背景

最近、日本語はインドネシアで速く広がっている。インドネシア人は日本語に興味があるが、日本語は特徴を持っているから難しいと感じられる。言語学習は語彙を学習からはじまると思う。Terrell (Tarigan, 1989: 49)は語彙学習は理解と談話の鍵だと述べている。

日本語を勉強する初心者にかぎらず大学で日本語を勉強する人にも語彙はとても必要なことである。Sutedi (2005: 78)によると日本語の競技の主な要点は三つある。それは漢字と文法と語彙である。日本語学科の学生は毎日色々な科目を勉強できるため語彙が必要なことになる。それなのに、語彙を覚えるのは簡単なことではない。

クロスワードは日常生活に見付けられるゲームである。このゲームは考える能力と覚える能力を加えることができると言われる。UCLA Centre on Aging Alzheimer の部長の Garry Small によると痴呆症、特に Alzheimer、を予防するためにストレス対策をして食生活を変えろということである。クロスワードと音楽をするのは脳の働く均衡を守ることである。

語彙リストだけで語彙を覚えることよりクロスワードのほうが語彙を学習するためにいいメディアだと思う。クロスワードは挑戦的に語彙について知識を刺激するものである。そんなわけで、日本語の語彙能力を向上するためのクロスワードというメディアの有効性を知るためにこの研究を行った。

B. 問題提供

この研究の問題は以下のとおりである：

1. クロスワードを使用した学生の語彙学習の結果はどうであるか。
2. クロスワードを使用しない学生の語彙学習の結果はどうであるか。
3. クロスワードを使用した学生と使用しない学生の語彙学習の結果に違いがあるか。
4. 語彙を学習するためのメディアとしてクロスワードを使用した学生の意見はどうであるか。

C. 解説

語彙は言語が分かるのに一つの必要なことである。大学で日本語を勉強する人にも必要である。語彙にはたくさん言葉があつて、覚えるのが大変である。大学で特別の語彙を勉強する時間がないから学生は自分で語彙をそのまま覚える。もっと面白い方法で語彙が早く覚えるために何か適当なメディアがあつたらいいと思う。そのためにクロスワードを使用して見た。

本研究で使用したメディアはクロスワードである。実験方法は true experimental を使用した。デザインは control group pretest-posttest design である。本研究の対象としては 2011/2012 年度の二年生である。その中から実験クラスとして A クラスから purposive sampling で 14 人で、統制クラスとして B クラスから 12 人である。本研究の器具は実験と統制クラスにやらせたテストと実験クラスに配ったアンケートである。手に入れたデータは実験クラスと統制クラスがやった予備テストと事後テストの結果とアンケートの結果である。

1. 予備テスト

	実験クラス	統制クラス
平均値	38.43	35.17
標準偏差	11.17	9.81
標準誤差	3.10	2.95
側定の標準誤差 x-y	4.27	4.27
t 数	0.76	0.76

本研究のトリートメンを行う前に、実験クラスの平均値は 38.43 点である。最高点は 16 点で、最低点は 54 点である。標準偏差は 11.17 点である。統制クラスの平均値は 35.17 点である。最高点は 48 点で、最低点は 16 点である。t 数の結果は 0.76 点で、t 表 5% = 2.06 点で、1% = 2.80 点である。t 数は (0.76 < 2.06 < 2.80) t 表よりもっと低いである。それは実験クラスと統制クラスの予備テストの結果は大きい差がないという意味。だからこの二つのクラスは研究のサンプルにした。

2. 事後テスト

	実験クラス	統制クラス
平均値	80.85	40.50
標準偏差	9.43	13.41
標準誤差	2.16	4.03
側定の標準誤差 x-y	9.43	13.41
t 数	8.40	8.40

トリートメンを行った後、実験クラスの平均値は 80.85 点になって、統制クラスの平均値は 40.50 点になった。t 数の結果は 8.40 点で、t 表 5% = 2.06 点で、1% = 2.80 点である。t 数は (8.40 > 2.06 > 2.80) t 表よりもっと高い。つまり Prof. Dr. Hamka Muhammadiyah 大学日本語学科の 2011/2012 年度の二年生に対する日本語の語彙能力を向上するためのクロスワードというメディアは有効だという意味である。

3. アンケート

実験クラスに配ったアンケートの結果は次の通りである。

- a. クロスワードで語彙を勉強するのが面白くて楽しいことである。
- b. クロスワードにあるヒントは語彙を覚えるのに適当である。
- c. クロスワードは日本語の語彙を勉強するためにいいメディアである。
- d. クロスワードで語彙を勉強するのはやるきがで、活動的になった。
- e. クロスワードで語彙を勉強するのは知識を加える有益がある。

D. 結論

本研究結果のデータに基づいて、語彙学習にクロスワードというメディアを使用したクラスは使用しないクラスより有効がある。それは t 数の結果から分かった。テストの平均値結果も差が大きくて、実験クラスは統制クラスより高いである。

アンケートのデータに基づいて、クロスワードといメディアは日本語の語彙能力が向上できて、面白いメディアである。